

# やっぱり岡山は速いぜ!!

## 1号車「KeePer TOM'S LC500」3位表彰台!

4月8日(日)、2018年最初のSUPER GTレースが岡山国際サーキットで行われた。昨年シリーズチャンピオンを獲得した「KeePer TOM'S LC500」は37号から輝かしい1号へとナンバーを変えた。ドライバーは昨年同様、最年少チャンピオンの2人、平川亮選手とニック・キャシディー選手。チャンピオンを取った次の年は、チャンピオンは取れないというジレンマを覆すべく、情熱的で、冷静な走りを見せてくれた。

(記事/TOM'S渡辺一郎)



### 低温がタイヤに影響し、予選9位

一気に真冬に逆戻りしたような極寒の岡山県の岡山国際サーキット、2018年スーパーGT開幕戦GT300kmレース(82周)が開幕した。

前日に行われた公式予選においても気温の影響を大きく受け、タイヤが温まらず、なんと予想外の予選Q2に進めない9位のポジションでレースをスタートする結果になってしまった。コース幅が狭く、オーバーテイクポイントの少ないこのサーキットにおいてこのポジションは、決勝レースに向けて上位を狙うには非常に厳しいスタートポジションとなってしまった。

### スタートから上位を抜き、トップに浮上!

今年も岡山県警交通機動隊の白バイ先導でのパレードラップを終え、フォーメーションラップの後、決勝がスタートした。

スタートドライバーのニック・キャシディー選手は前日の不振が嘘のような快走を見せ、オープニングラップでいきなり3台を抜き6番手にジャンプアップ! さらに積極的に前を狙い、8周目には5番手に上がる。その手を緩めずに

15周目の第1コーナーでは6号車を抜いてLEXUS勢のトップに躍り出る。さらに1号車の快進撃は続き、前を行くライバルより2秒も早いタイムで追い続け22周目の第1コーナーで24号車をパスし表彰台圏内の3位へポジションを上げる。25周目には2位走行中の23号車にジャンプスタートでドライブスルーペナルティーが課せられ劣せず2位へ浮上、残るはトップの17号車のみとなった。

徐々にトップとの差をつめてゆくキャシディー選手は32周目にはテールツノーズの状態でもトップとのバトルが始まり、38周目のバックストレートエンドにトップの17号車のイン側に飛び込み、接触しながらもオーバーテイク! なんと予選9番手から一気にトップへ浮上した。



### 45周目、ピットインで4位に。NSXを猛烈に追う!

しかしこの接触のときにステアリングにダメージを負ってしまい、ハンドルが曲がった状態での走行を強いられることになり、今までと同じペースでの走行ができなくなってしまった。

1号車は45周目に予定通りのピットイン、タイヤ交換と給油を終え、ドライバーを平川亮選手に交代し戦闘再開!



全てのマシンがピット作業を終えた時点での順位は4位。ステアリングのトラブルにより、ピットイン前のラップタイムが上がらなかったこと、100号車がタイヤ交換をしなかったことが要因であったが、ドライバー交代当初、曲がったステアリングに戸惑っていた平川選手も徐々に慣れ、ラップタイムも上がってきた57周目にLEXUSの6号車をパス。再び順位を3位表彰台圏内に戻し、15秒前を行くNSX勢2台を猛追する。

### トップと約3秒差まで追い詰めるも3位

最終的に3秒差まで詰めるが2位には届かず、開幕戦を3位表彰台にて終えた。絶望的と思われた予選9番手から3位表彰台は、気温とタイヤに翻弄されながらも上々のスタートであった。



## 少人数制、自店で実施できるから即効性あり! ダイヤ上達会レポート

### ガラスコーティング作業の不安は「いらぬ心配」だと分かりました

(株)西日本宇佐美 東海支店 155号豊田南インター給油所(愛知県) / 石黒副店長



ダイヤモンドキーパーは、施工する機会が少なかったため、ずっと不安でした。その不安は、軽研磨作業だけでなく、特にダイヤモンドキーパーケミカルを使ったガラスコーティングの作業にもありました。

ダイヤモンドキーパーの場合は、ガラスコーティング作業をボディが乾いた状態でするので、「拭き残したら、大変なことになる」と心配していました。そのため、すごく小さな範囲(20cm四方程度)で、「塗り→拭き」を繰り返すように

に作業していたので大変でした。しかし上達会を行ったことで、拭き残してもクリスタルキーパーと同様に、容易に修正できることを理解しました。作業も50cm四方ずつ程度塗り広げて、1パネルまとめて拭き取っても、キレイに仕上がるということがよく分かりました。「いらぬ心配だった」と気づき、施工に自信がつかしました。

また、これまではダイヤモンドキーパーがぴったりだと思うお客様に対して、作業に不安があったため、提案できないことがありました。今ではお客様に自信を持って提案できるようになり、ダイヤモンドキーパーの施工をお任せいただくことが増えました。

1級資格者が6人いますが、以前の私のように1級を持っていてもダイヤモンドキーパーに自信がないスタッフがあります。今後、順番にダイヤ上達会をお願いしたいと考えています。スタッフ全員が、お客様にダイヤモンドキーパーを積極的にご提案できるようにします。

### 研磨の基準、受注の方法が分かり、ダイヤシリーズの施工が増えました

山田石油サービス(株)Dr.Driveセルフ防府西給油所(山口県) / 中園レギュラーマネージャー



1月にダイヤモンドキーパー上達会を実施し、明らかにダイヤモンドキーパーに対する意識が大きく2つ変わりました。

1つめは研磨をしなくても、十分なツヤが出ることです。明らかに白ボケして研磨しないとキレイにならないと思っていたのに、研磨をしなくてもツヤが非常に高いことに驚きました。それまでは新車以外はほぼ研磨をしていて、ダイヤモンドキーパーは「時間がかかる」「1日預からないとできない」と思っていたのですが、研磨の基準が変わったことで、預からなくてもできるという意識が変わったのは大きな収穫でした。

2つめは受注です。受注の際、今までは、一生懸命メニューの説明をしていました。しかし車の状態をお客様と一緒に確認をし、今までの悩みや今後どうしていきたいのかを聞いた上で自信を持ってダイヤモンドキーパーシリーズのことを伝えるという流れは、ものすごく自然です。またダイヤモンドキーパーシリーズについて「絶対にキレイになる」と自信を持ってお伝えすることも大事だと分かりました。

結果、今まで月に1台あるかないかだったダイヤモンドキーパーが、3月だけでダイヤモンドキーパー1台、ダブルダイヤモンドキーパー4台、ダブルダイヤモンドキーパープレミアム1台をお客様からお任せいただけました。4月からこの意識で新車需要を活かしていきます。



ダイヤモンドキーパーの施工方法はもちろん、「施工方法やケミカル使用方法が分からない」「施工や洗車機にトラブルがあった」など、そんなときは各営業担当者にお問合せいただくか、電話にできない場合は、コールセンターにおかけください。

KeePer施工店  
専用コールセンター

電話番号:0570-00-1960 (ナビダイヤル)

受付時間:10時~17時 ※ナビダイヤルは、通話料がかかります。